【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-141726(P2006-141726A)
【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)
【年通号数】公開・登録公報2006-022
【出願番号】特願2004-336412(P2004-336412)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/04　３７２
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｃ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カバーガラスと、固体撮像素子と、信号ケーブル接続部が設けられた回路基板と、
前記固体撮像素子と前記回路基板とを接続する可撓性基板もしくは線材とからなる電気接続部材とにより構成される固体撮像素子ユニットにおいて、
外観上において視認し得る所定の部位が上下方向もしくは左右方向で非対称となるように構成されていることを特徴とする固体撮像素子ユニット。
【請求項２】
前記カバーガラスと前記固体撮像素子の受光面との間に配置される遮光板は、前記固体撮像素子の受光面に対向する面において上下方向もしくは左右方向で非対称となるように構成されていることを特徴とする請求項１に記載の固体撮像素子ユニット。
【請求項３】
前記遮光板には、前記固体撮像素子を臨む面に上下方向もしくは左右方向で非対称となる開口が形成されていることを特徴とする請求項２に記載の固体撮像素子ユニット。
【請求項４】
前記回路基板に配設される信号ケーブル接続部は、上下方向もしくは左右方向で非対象となる外観形状をなしていることを特徴とする請求項１に記載の固体撮像素子ユニット。
【請求項５】
前記回路基板に実装される複数の電気部品は、上下方向もしくは左右方向で非対称となるように配置されていることを特徴とする請求項１に記載の固体撮像素子ユニット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記目的を達成するために、本発明による固体撮像素子ユニットは、カバーガラスと、

固体撮像素子と、信号ケーブル接続部が設けられた回路基板と、前記固体撮像素子と前記回路基板とを接続する可撓性基板もしくは線材とからなる電気接続部材とにより構成される固体撮像素子ユニットにおいて、外観上において視認し得る所定の部位が上下方向もしくは左右方向で非対称となるように構成されていることを特徴とする。